

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

使命

創薬と医療技術の向上を支援し、人類を苦痛から解放する事を絶対的な使命とする

売上高
500億円経常利益
200億円経常利益率
40%ROE
10%以上

② 中長期の経営戦略

1. CRO事業の強化

ワクチン・感染症治療薬開発対応、創薬スクリーニングから臨床試験までの一貫サービス提供、東南アジア・国内NHP繁殖体制強化、MPS受託開始、GENJIプロジェクトによるDX推進

3. 人材育成と提案型CRO化

若手研究員のサイエンスレベル向上、学会発表・論文発表による信頼構築、顧客視点の付加価値サービス提供

2. 第3成長エンジンTR事業推進

経鼻投与基盤技術（SMART）による医薬品開発。神経変性疾患薬は臨床第2相、片頭痛薬Atzumi™は2025年4月FDA販売承認取得。経鼻ワクチンは近畿大学と共同研究

4. サプライチェーン強化

日本・中国・カンボジアのグループ施設の検疫・繁殖・育成能力増強、品質の高い実験動物の安定確保、リスク分散

③ 対処すべき課題

① CRO事業の更なる強化

- ・ ワクチン・感染症治療薬開発対応、創薬スクリーニングから臨床試験までの一貫サービス提供
- ・ 東南アジアと国内でのNHP繁殖体制強化、輸入リスク軽減
- ・ MPS受託実験室設置、国内CRO初の受託サービス開始

② TR事業を第3収益エンジンに

- ・ 経鼻神経変性疾患薬：臨床第2相。TRN501改良品も臨床第1相完了
- ・ 片頭痛薬Atzumi™：2025年4月FDA販売承認取得、上市準備中
- ・ 経鼻ワクチン：近畿大学との共同研究、非臨床POC取得を目指す

③ SDGs/ESGによる非財務価値向上

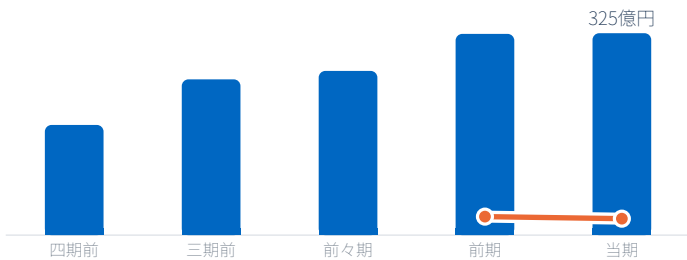
- ・ 7つのマテリアリティ特定、非財務KPI設定での価値向上
- ・ SDGs委員会設置、独立社外取締役を委員長として月次開催
- ・ カーボンニュートラル、働きがい職場環境、ステークホルダー関係強化

面接で使えるポイント

- ・ 新日本科学は医薬品開発の非臨床・臨床試験を網羅的に受託でき、CRO業界で実験用NHP自社繁殖は世界唯一の強み
- ・ 2028年度ビジョンで売上高500億円・経常利益200億円を目指し…
- ・ 創薬型医薬品開発事業へのパラダイムシフト、経鼻技術SMART応用で片頭痛薬FDA承認取得、経鼻ワクチン研究開始

証券コード 2395

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
325億円営業利益率
8.2%財務健康度
43点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 49.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
670万円

サービス業内 158位/524社

平均年齢
38.5歳

サービス業内 266位/527社

平均勤続
10.2年

サービス業内 132位/527社

女性管理職
24.7%

サービス業内 132位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 24位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)新日本科学【2395】：決算情報

